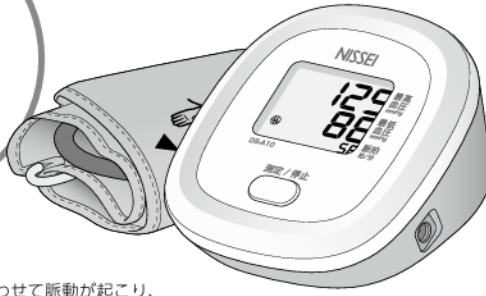


上腕式デジタル血圧計 DS-A10

取扱説明書
NISSEI



取扱説明書

作動原理

動脈を腕帯で圧迫すると、心拍に合わせて脈動が起こり、

カフ

腕帯、マンシェット

駆血帯

コネクタ

チューブ
エア管

腕帯コネクタ接続部

表示部

測定／停止
ボタン

ACアダプタ
接続部

電池カバー

単 3 × 4 本

本体

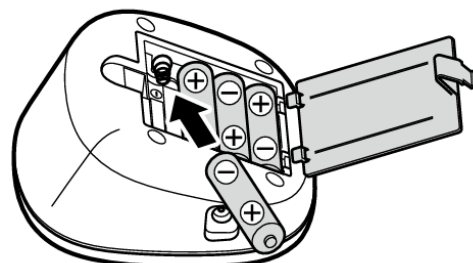
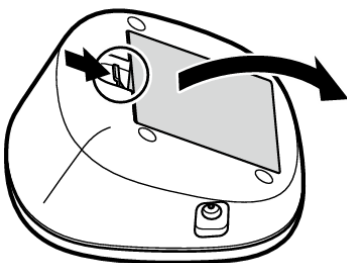
注意

- カフ（腕帯、マンシエット、駆血帯）の絞めつけにより内出血等の起こることがあります。絞めつけが異常に強いときは【測定/停止】ボタンを押して測定を中止させてください。
- 電磁波を発生する機器（携帯電話・電子レンジなど）から50cm以上離して測定してください。
- お風呂場近くなど湿気の多いところに保管しないでください。
- 子どもやペットの手の届くところに保管しないでください。

電池交換

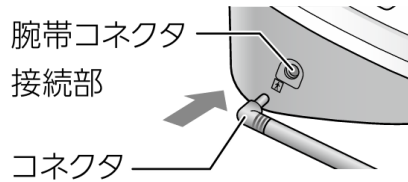


- 電池の残量が少なくなると電池交換マーク [●] が点滅します。
- 電池交換マークが点滅→持続点灯になると測定はできなくなります。
- **【測定/停止】ボタン**を押して本体電源を切ってください
- 本体裏側の電池カバーを開けてください。
- 古い電池をすべて取りはずして、手のとどかない遠くに置いてください（新しい電池とまちがえないために）。
- 同じ種類の新しい電池4本を、⊕⊖の⊖側から差し入れてください。セットの中に**単3×4本**が用意されています。
- 電池カバーをカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

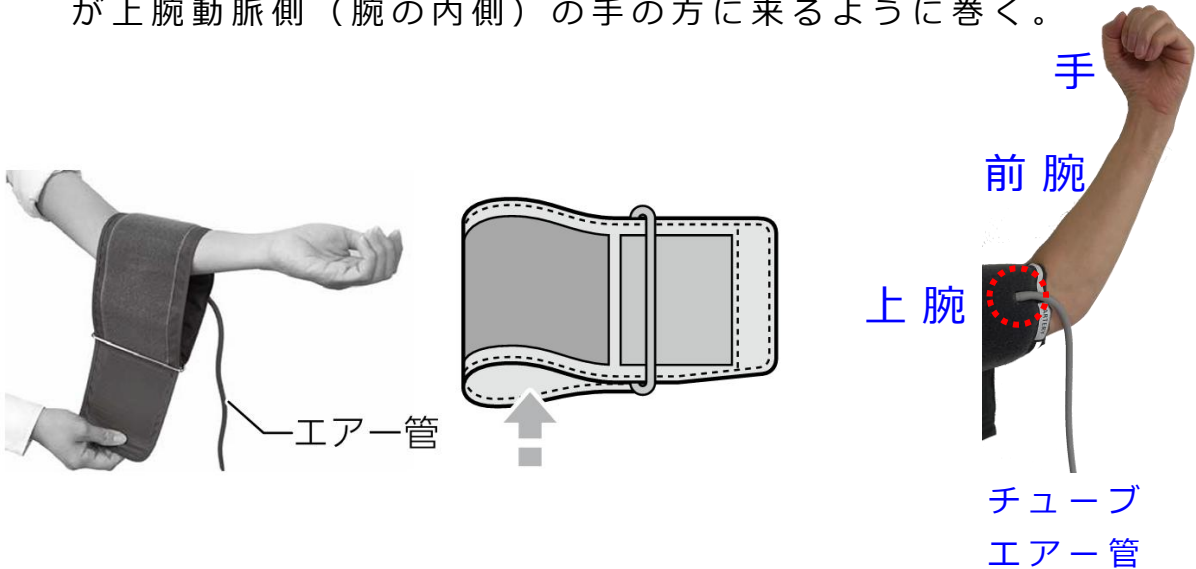


血圧測定（上腕 1）

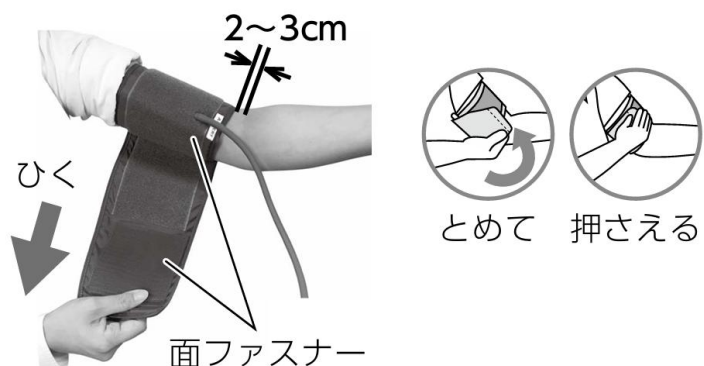
- カフ（腕帯、マンシェット、駆血帯）のチューブ（エアー管）のコネクタが、本体側面のコネクタ接続部にしっかりとハマっていることを確認しましょう。
- 接続部で空気が漏れると血圧は正しく測定できません。



- カフ（腕帯、マンシェット、駆血帯）のチューブ（エアー管）が上腕動脈側（腕の内側）の手の方に来るように巻く。

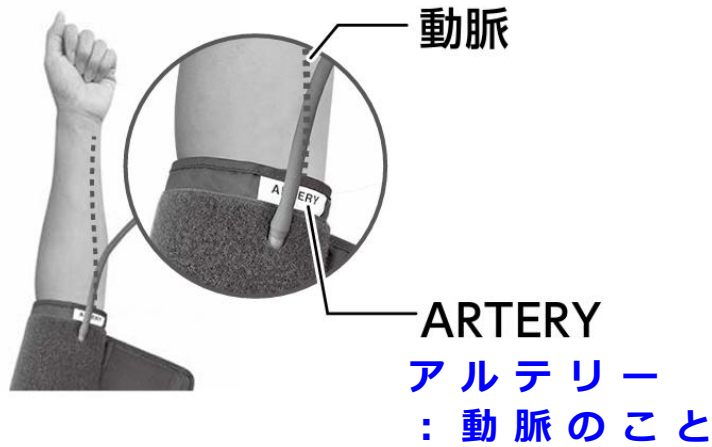


- カフ（腕帯、マンシェット、駆血帯）の縁が肘関節より少し上に来る位置で上腕に巻きつける。

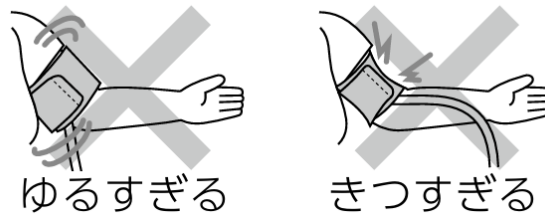


血圧測定（上腕２）

- カフ（腕帯、マンシエット、駆血帯）のチューブ（エアー管）が上腕動脈の近く（上腕の内側）にあることを確認する。



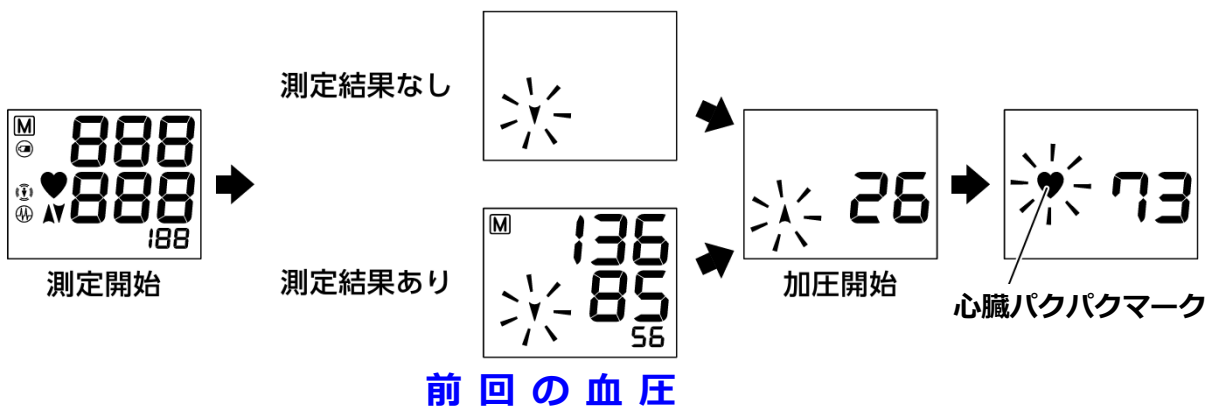
- 正確な血圧測定のためにカフは適度の強さで巻きましょう。



- **【測定 / 停止】ボタン**を押して血圧を測りましょう。

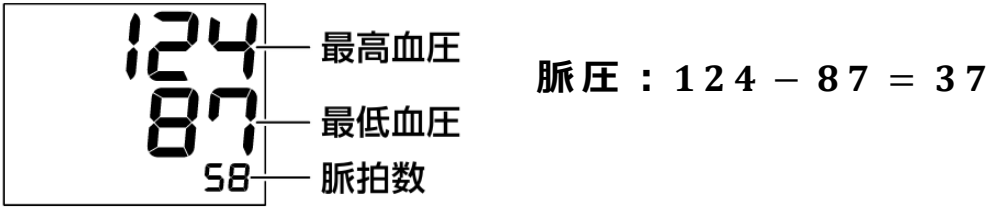
測定を中止したい場合は、測定／停止ボタンを押してください。空気が抜けて電源が切れます。

以前に測定したことがある場合は、加圧が開始する前に前回の測定結果が表示されます。



血圧測定（上腕３）

- 測定結果をメモや血圧手帳に記録しましょう。



- カフ（腕帯）を外し、【測定/停止】ボタンを押して本体の電源を切りましょう。

測定 / 停止



困ったなと思ったら

こんなとき	原因	対策
測定値が異常に高く又は低く表示される	腕帯を心臓の高さにあわせて測定していない	測定中は腕帯を心臓の高さにあわせてください
	腕帯が正しく巻かれていない	腕帯の巻き方を確認してください
	測定中に動いたり会話をしたりした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
測定値がいつもと異なる	心身状態や測定状態が血圧に影響を与えている	いつもと同じ条件のもとで測定してください
病院での測定と値が異なる	病院での緊張感、ご家庭でのリラックス感などの精神状態が血圧に影響を与えている	ご家庭で測定した血圧を記録し、医師の指導や診断をお受け下さい
 が表示された	測定中に動いたり会話をした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
	測定結果が測定範囲を超えた	毎回表示される場合は、医師にご相談ください
 が表示された	エアータubeが折れ曲がっている	エアータubeの折れや潰れがないか確認してください
	腕帯コネクタがしっかりと接続されていない	腕帯コネクタの接続を確認してください
	腕帯が正しく巻かれていない	腕帯の巻き方を確認してください
 が表示された	測定中に動いたり会話をしたりした	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
	測定中に手や腕を動かしたり、会話をしたため最大加圧まで加圧された	測定中は動いたり会話をしたりしないでください
ボタンを押しても何も表示されない (測定が開始しない)	電池が消耗している	4本すべて新しい電池と交換してください
	電池の＋と－の向きが間違っている	電池を正しく入れなおしてください
	電極が汚れている	乾いた布できれいにしてください
 が表示された	電池挿入時または AC アダプタ接続時にボタンを押していた	測定/停止ボタンを押して、一度電源を切ってください

NISSEI

HiRS
手首式デジタル血圧計



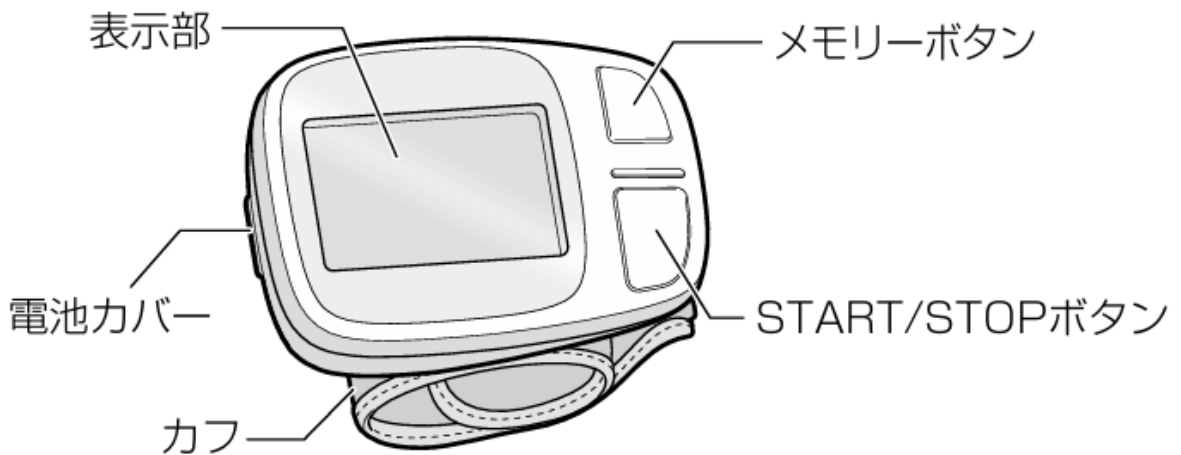
取扱説明書

／品質保証書

型式: WS-10J



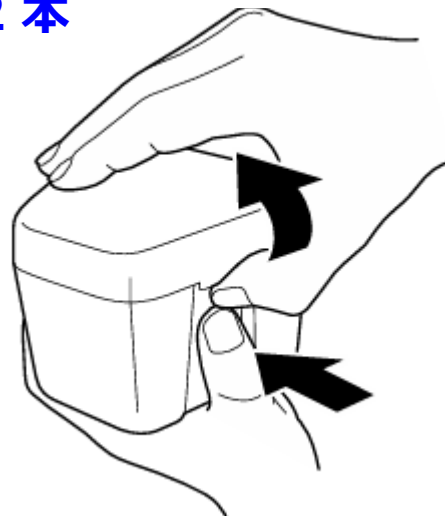
取扱説明書



単 4 × 2 本



キャリングケース



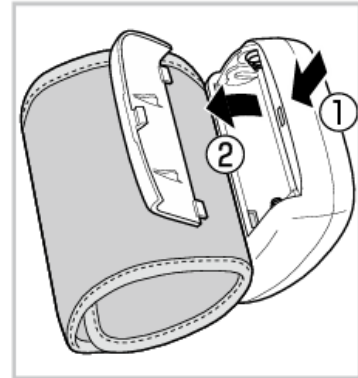
キャリングケースは、側面のくぼみを軽く
押しながら開けてください

電池交換

- 上腕式血圧計と基本的に同じです。
- 同じ種類の新しい電池 2 本を、⊕ ⊖ の ⊖ 側から差し入れてください。セットの中に **単 4 × 2 本** が用意されています。

① 電池カバーを外す

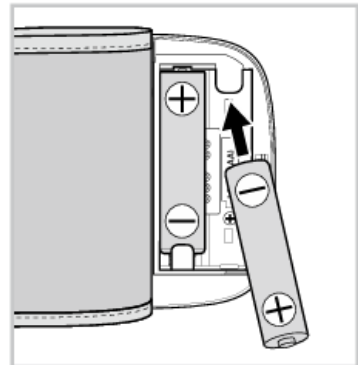
本品裏側にある電池カバーを①押しながら②矢印の方向に外します。



② 電池を入れる

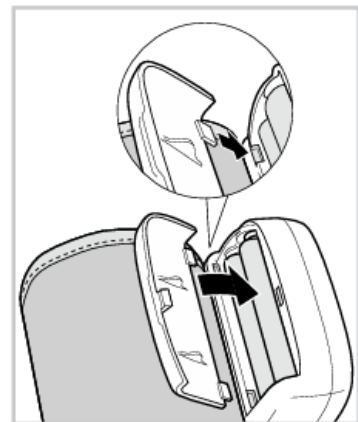
向きに注意し、単 4 形アルカリ乾電池を 2 本入れてください。
(一) 側をバネに押し付けるようにすると簡単に入ります。

単 4 × 2 本



③ 電池カバーを閉める

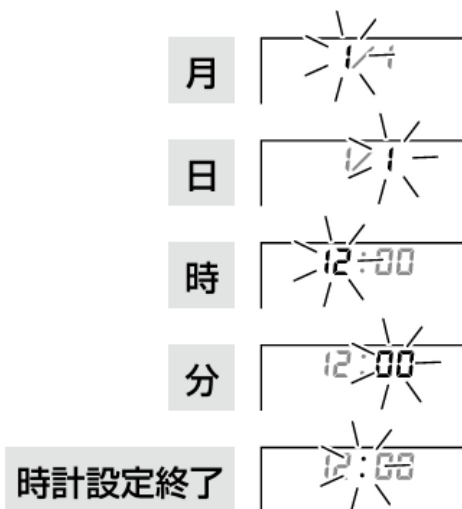
電池カバーのツメを差し込んでからカバーを閉めてください。
無理に閉めるとツメが破損することがあります。



種類の異なる電池を混ぜて使ったり、新しい電池と古い電池を混ぜて使ったりすると電池が発熱し、故障の原因となります。

電池交換後の時計設定

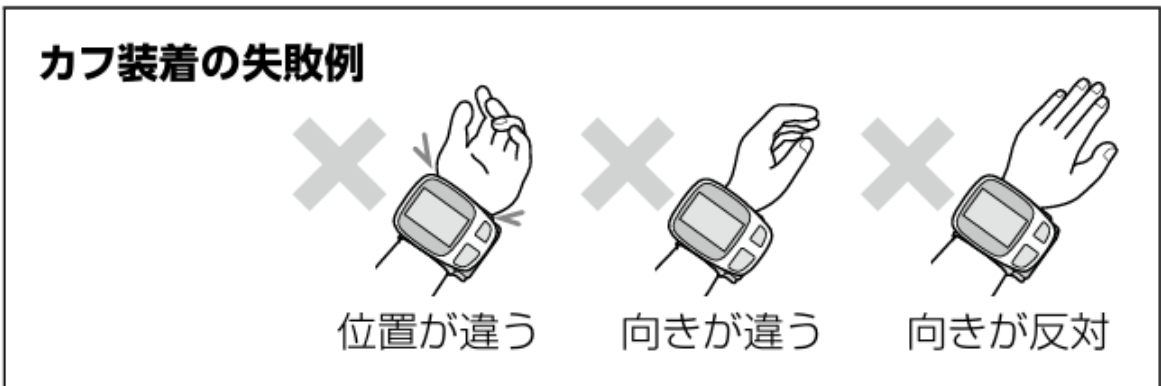
- 電池を交換すると時計が初期値に戻ります。
- 血圧計の電源を切ります。
- 血圧計のメモリーボタンを約3秒間長押しすると、「年」が点滅し始めます。
- このとき、メモリーボタンを押すと数値が大きくなります。メモリーボタンを長押しすると早送りになります。
- 数値を合わせたら【START/STOP】ボタンを押して確定し、次の項目に移ります。
- 時計の設定は「年→月→日→時→分」の順におこないます。



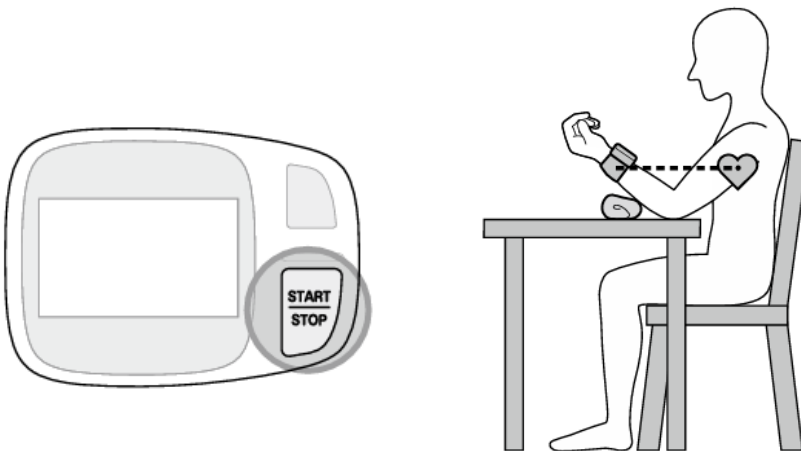
- 「分」を確定すると時計機能が有効になり、電源が切れて表示部に時計が表示されます。
- 時計の表示は電源が切れていることを意味しています。

血圧測定（手首1）

- カフ（マンシェット、駆血帯、手首帯）を手首に巻きます。
- 血圧計の表示部が「手のひら」側に来るように巻きます。
- 手のひらと手首の境より5mm～10mm離れたところにカフの上限が来るように巻きます。
- カフと肌の間にすき間ができないように巻きます。



- 高血圧の程度を知るための安静時血圧を調べるときは、**カフを心臓と同じ高さにして測定**します。

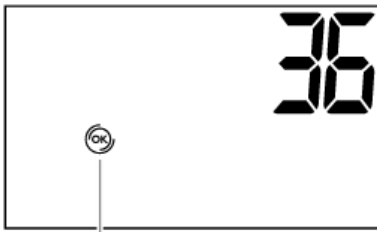


- 【START/STOP】ボタンを押して測定を開始します。
- 「0」が点滅した後、自動加圧が始まります。
- （もう一度押すと、測定が途中で中止されます）
- 血圧測定中、息はしていてもかまいませんが、話をしたり、体を動かしたりしてはいけません。

血圧測定（手首２）

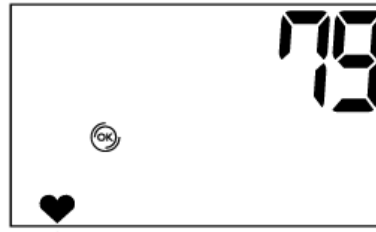
- カフ（マンシェット、駆血帯、手首帯）が正しく巻かれている場合は、「カフ巻き巻きマーク」が表示されます。
- 脈拍を検出すると、脈拍に「心臓パクパクマーク」が表示されます。

加圧開始



カフ巻き巻きマーク

測定中



心臓パクパクマーク

- 測定が終わると、カフから空気が抜け、測定結果が表示されます。

結果表示



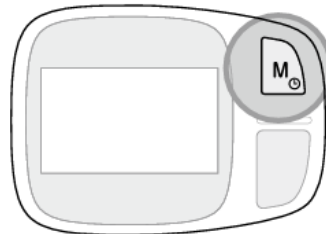
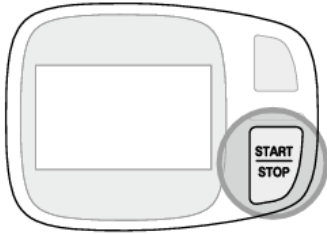
$$\text{脈圧} : 126 - 83 = 43$$

- 測定中に動くと体動マークが表示され、脈波の間隔が一定でない時は不規則脈波リズムマークが表示されます。

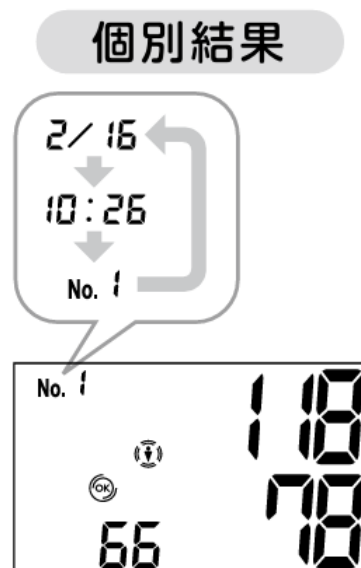


血圧測定（手首3）

- 測定結果をメモ用紙や血圧手帳などに記録後、
【START/STOP】ボタンを押して電源を切ります。
- 電源が切れると時計が表示されます。



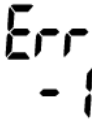
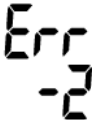
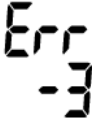
- 最新測定60回分の結果が血圧計に記憶されます。測定を続けると古いものから消えていきます。
- メモリーボタンを1回押すと、10分以内に測定された（最大3回分の）結果の平均値が表示されます。（**血圧計の時計が設定されていないと平均値は計算されません**）



- メモリーボタンをもう一度押すと、個別の測定結果が表示されます。
- メモリーボタンを押すたびに、新しいものから過去にさかのぼって順番に表示されます。
- 【START/STOP】ボタンを押して電源を切ります。

血圧測定（手首４）

10. 困ったなと思ったら

こんなとき	原因	対処方法
時計が表示されていない。	時計機能が無効になっている。	時計を設定し、時計機能を有効にしてください。
何も表示されない。	電池が消耗している。	２本とも新しい電池と交換してください。
	電池の向きが誤っている。	電池を正しく入れ直してください。
	電極が汚れている。	乾いた布できれいにしてください。
時計表示が消えない。	時計が設定されていると電源が切れた状態でも時計が表示されます。	故障ではありません。そのままご使用ください。
 が表示された。	測定中に動いたり話をしたりした。	測定中は動いたり話をしたりしないでください。
	測定値が測定範囲を超えている。	医師の指導や診断をお受けください。
 が表示された。	カフが正しく巻かれていない。	カフを正しく巻きなおしてください。
	カフが破損している。	カフを巻きなおしても常にこのエラーが表示される場合は、点検・修理をお申し付けください。
 が表示された。	測定中に手や腕を動かしたり、話をしたりしたため最大圧力まで加圧された。	測定中は動いたり話をしたりしないでください。
 が表示された。	電池を挿入する際にSTART/STOPボタンが押されてしまった。	START/STOP ボタンを押して、一度電源を切ってください。
 が表示された。	電池が消耗している。	２本とも新しい電池と交換してください。

参考（１）

● 手首の血圧について

手首の血圧は、上腕の血圧値と多少の差があります。

これは測定部位の違いによるためですが、安静にした状態でカフの位置を心臓と同じ高さにして測定した場合は、上腕の血圧値と近似し、また、上腕の血圧の変化も良く反映しています。

高血圧症、糖尿病、動脈硬化症、肝臓病等で末梢循環器障害のある方は、上腕の血圧値と差が大きくなることがあります。

血圧とは

血管内を流れる血液が血管の内壁におよぼす圧力のことをいいます。

最高血圧（収縮期血圧）

心臓が収縮して血液が送り出され血管内の圧力が上がります。

最低血圧（拡張期血圧）

心臓が拡張して血液が心臓にもどり血管内の圧力が下がります。

血圧は常に変化しています

血圧は心身のいろいろな条件で変化し、いつも一定のものではありません。

以下の要因で血圧は変動します。

- ・時刻や季節 ・身体活動 ・高血圧治療などの薬剤
- ・飲食（アルコールを含む） ・喫煙 ・精神的緊張
- ・入浴 ・尿意 ・会話

安静状態での血圧値を正確につかむためには、5分以上休憩をいれながら何回か測定することをお勧めします。

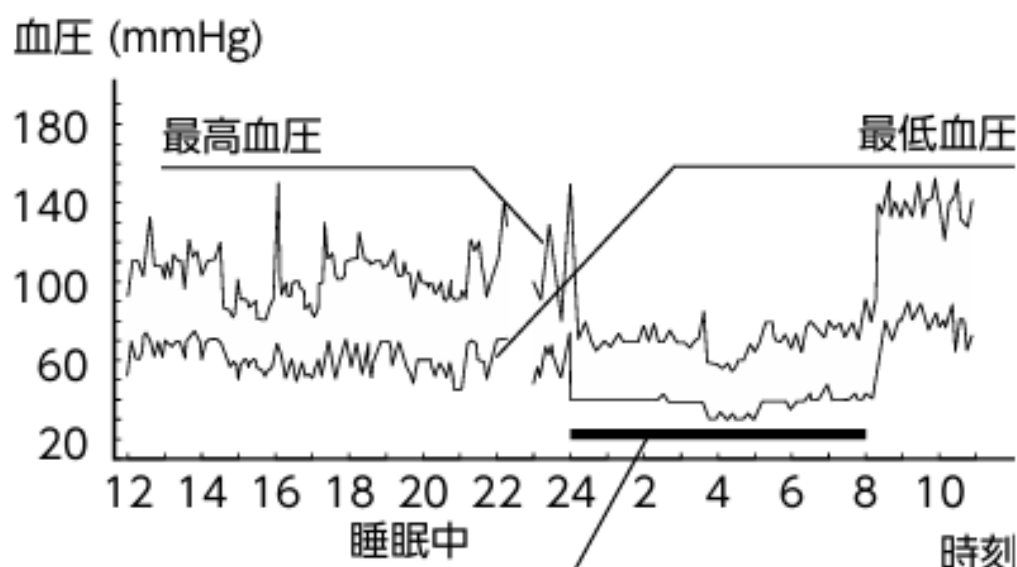
高血圧とは

WHO では血圧を次の表のように分類しています。しかし、血圧値は人種、地域、性別、年齢によってかなりの差がみられ、人により目標値も異なります。測定結果はご自分で判断せずに必ず医師の指導を受けてください。

参 考 (2)

血圧の日内変動の一例

Bevan, Honour & Scott (1969) Clin. Sci. 36. 329



(mmHg)

	収縮期血圧 (最高血圧)		拡張期血圧 (最低血圧)
至適血圧	120未満	かつ	80未満
正常血圧	120～129	かつ/または	80～84
正常高値血圧	130～139	かつ/または	85～89
I 度高血圧	140～159	かつ/または	90～99
II 度高血圧	160～179	かつ/または	100～109
III 度高血圧	180以上	かつ/または	110以上
収縮期高血圧	140以上	かつ	90未満

WHO / JSH による血圧分類 (2009)

参考（３）

高血圧治療ガイドライン2019（日本高血圧学会）

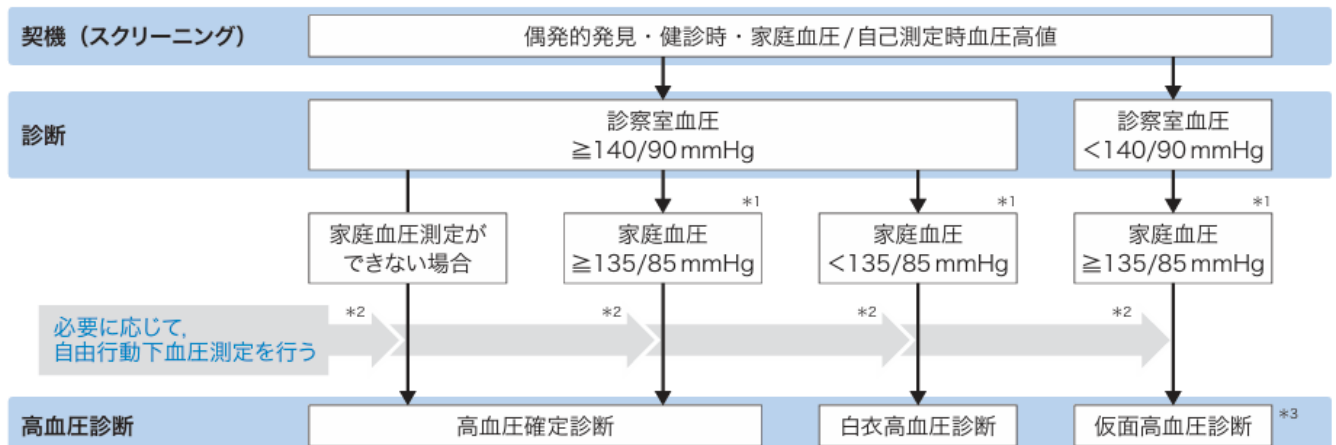
表2-5 成人における血圧値の分類

分類	診察室血圧(mmHg)			家庭血圧(mmHg)		
	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧	収縮期血圧	かつ	拡張期血圧
正常血圧	<120	かつ	<80	<115	かつ	<75
正常高値血圧	120-129	かつ	<80	115-124	かつ	<75
高値血圧	130-139	かつ／または	80-89	125-134	かつ／または	75-84
I度高血圧	140-159	かつ／または	90-99	135-144	かつ／または	85-89
II度高血圧	160-179	かつ／または	100-109	145-159	かつ／または	90-99
Ⅲ度高血圧	≥180	かつ／または	≥110	≥160	かつ／または	≥100
(孤立性)収縮期高血圧	≥140	かつ	<90	≥135	かつ	<85

表2-6 異なる測定法における高血圧基準

	収縮期血圧 (mmHg)	拡張期血圧 (mmHg)
診察室血圧	≥140	かつ／または ≥90
家庭血圧	≥135	かつ／または ≥85
自由行動下血圧		
24時間	≥130	かつ／または ≥80
昼間	≥135	かつ／または ≥85
夜間	≥120	かつ／または ≥70

図2-1 血圧測定と高血圧診断手順



*1 診察室血圧と家庭血圧の診断が異なる場合は家庭血圧の診断を優先する。自己測定血圧とは、公衆の施設にある自動血圧計や職域、薬局などにある自動血圧計で、自己測定された血圧を指す。

*2 自由行動下血圧の高血圧基準は、24時間平均130/80 mmHg以上、昼間平均135/85 mmHg以上、夜間平均120/70 mmHg以上である。自由行動下血圧測定が実施可能であった場合、自由行動下血圧値のいずれかが基準値以上を示した場合、高血圧あるいは仮面高血圧と判定される。またすべてが基準値未満を示した場合は正常あるいは白衣高血圧と判定される。

*3 この診断手順は未治療高血圧対象にあてはまる手順であるが、仮面高血圧は治療中高血圧にも存在することに注意する必要がある。